

# Q「首相交代いけませんか」

## A「当たり前。自民と一緒」

2010  
参院選

@兵庫

——野党として迎える選挙。難しいですか。

野党の役割は、政権に対する評価から入っていかなきやいかん。政策の正当性から主張しても、「あんた方には政権ないやないか。決定権ないやないか」と言われる。「批判一辺倒で何やるかわからへん」と言われるが、野党はそんなもんですよ。物わかりが良すぎてはだめ。物わかりのいい野党は必要ない。

——民主党政権を四つの点で批判しています。  
まず、総理や責任ある立場の

### 主な立候補予定者に聞く

自民現職 末松信介さん (54)



人が方針や前言をすぐに撤回することが多かった。二つ目は結論が先にあり、それから具体策、スケジュール、慌てて財源を探すという政治手法の問題。三つ目は陳情一元化。選挙至上

主義の象徴たるものだ。四つ目は法律や予算の廃止。政権を取った者はそういうことを許されるのだけれど、国民とのキャッチボールをしたのかと。  
——鳩山前首相から菅首相に

代わりました。

鳩山さんは、なんだか別の空間に閉じこもって国民とのキャッチボールがうまくできなかった。菅さんは強敵。自分の言葉でしゃべっているし、政治家の嗅覚も優れているのではないか。(自民党の)谷垣禎一総裁も、我々を引っ張るなら政治的な嗅覚がほしい。丸い政治家は必要ない。角のある政治家でない、今の時代は対応できない。

——選挙目当ての表紙の張り替えという批判は、過去の自民党も一緒では。

安倍晋三さんの後を継いだ福田康夫さん、そして麻生太郎さんと比べ、鳩山さんを継いだ菅さんとどっちが抵抗感がないかと聞いたら、菅さんのほうが抵抗感がないだけであって、やっていることは一緒。総理の顔を变えたらなんとかなるような政治をやっている。自民党と全く一緒。

——自民党も首相をコロコロ代えたのはよくなかった。当たり前ですよ。

——自民党は変わったと言っていますが、どこが。長老が表舞台から去り、影響は完全に排除されたと思う。

(自身が所属する町村派の)森喜朗元首相も町村信孝元官房長官も(参院選で)街頭に立つことはないだろうし、立ってほしいと思う候補者もないと思う。変わりがきれいなところと言ったら、むしろ若手に問題がある。

——若手が党を引っ張らないといけないと?

谷垣総裁も、鳩山首相退陣という所期の目的は達したんだから、自発的に(若手に譲ることを)考えられてもいい。みんながまとまると言ったら、石破(茂・政調会長)さんとかになれば随分受け止めが変わるでしょうね。

(聞き手・佐藤卓史)